

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステップ御崎(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動のプログラムの充実と発信	色んなプログラムを週ごとに分けて、毎日15分の集団活動を行ない、その中で自然と集団生活に必要なスキルを身につけてもらう取り組みを行ない保護者に日々、伝えている。	プログラムがマンネリ化しないように職員で案を出し合い、充実を図るようにする。
2	クッキングレクで成功体験を積む	毎月1回のクッキングレクで調理器具を安全に使うことや自分たちで「おやつ」「食事」を作ることで「できた」の成功体験を積み、自己肯定感を高める支援を行っている。	偏食のお子様も多数いるので、色んな調理に携わることで、食育に繋げていく。
3	保護者様のご要望や意見、相談に丁寧な対応	家族支援も含めて、「お子様の様子」や「お子様の成長」をお伝えし、サポートできるように連携を取っている。	事業所の思いと保護者様の思いに行き違いやズレが生じないようにスタッフ間で情報の共有をさらに深めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングが周知されていないこと	説明や発信の弱さを感じている。	職員、個々が説明や発信を強くできるように研修等を行う。
2			
3			